■ABSTRACT OF JAPANESE UNEXAMINED PATENT GAZETTE No. 60-23008

A cabinet manufacturing method including the steps of: sticking a flexible surface material (3), which is made of vinylchloride sheet or the like, on a surface of a wooden plate (4), cutting off the wooden plate (4) to form V-shaped grooves, bending the wooden plate (4) with the V-shaped grooves as boundaries to form a cabinet body (7) that has approximately right-angled ridgelines, then diagonally cutting off a part of the surface material (3) and wooden plate (4) along the ridgeline of the cabinet body (7) to form a sloped surface (11) for attaching an operation panel (15).

With the aforesaid method, the deviation in dimensions can be reduced when assembling, and wooden plate itself can be smaller.

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭60—23008

⊕Int. Cl.⁴ B 27 M 3/18	識別記号	庁内整理番号 70122B	❸公開 昭和60年(1985)2月5日
B 27 F 1/00 B 29 D 12/00 H 05 K 5/02		7222—3 C 6653—4 F 7216—5 F	発明の数 1 審査請求 未請求
			(全 4 頁)

⑤キャビネットの製造方法

願 昭58-131268

願 昭58(1983)7月18日

②発 明 者 新美畝方

20特

❷出

門真市大字門真1006番地松下電

器産業株式会社内

⑩発 明 者 熊沢京亮

門真市大字門真1006番地松下電

器産業株式会社内

创出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

邳代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1名

211

1、発明の名称

キャビネットの製造方法

2、特許請求の範囲

木板の袋面に塩化ビニルシート等の可挽性の袋 面材を貼り付け、上記木板にV字形の褥を切削し 上記木板を上記V字形の牌を境に折り曲げて稜線 が経経直角なキャビネット本体を構成し、その後 上記キャビネット本体の破線にそって上記表面材 及び木板の一部を斜めに切削して操作パネル等を 取付けるための傾斜面を構成することを特徴とす るキャビネットの製造方法。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は袋面に可挽性の袋面材を貼り付けた板 状木材を箱状に折り曲げ加工するキャビネットの 製造方法に関するもので、その稜線に傾斜面を加 工した際の寸法精度のくるいを少なくしたもので

従来例の構成とその問題点

通常レコードプレーヤ等のキャビネットの内、 木板を使用するものにおいては第1図(a)。(b),第 2 図(a),(b)に示すような構成をとっている。 第 1 図は、ある厚さを持つ木板1を密にかさね合わせ てのち接着剤等で固着させ、必要部分のみに穴あ け加工2を施したもので、これは、接着加工,穴 加工,表面の加工等で非常に工数を要し、大量生 産には向かず、また価格も非常に高くなる欠点が あり、一郎しか使用されていないのが現状である。 第2図は、現状のほとんどのレコードブレーャ用 ・ ギャビネットに使用されているもので、この図で は、ターンテーブル,ピックTップその他、レコ ードブレーヤとしての必要部分を省略し、キャビ ネットの概略を図示している。

ここで、ほとんどのレコードブレーャのキャビ オットに使用されている第2図のキャビネットに ついて説明する。通常、この種のキャビネットを 構成する場合には、第3図に示すように外観の美 しさを得るため木材の木目模様を印刷した姿面材 3 (例えば塩化ビニルシート等) を木板4の裏面

特問昭60-23008(2)

K 貼り付けた板材を用い、 これを第3区(a) の様に 表面材3のみを残して木板4の部分に∨字形の海 4 a を切削し、表面材3の可撓性を利用して板材 を第3図(b)の様に折り曲げ、第2図のような箱形 のキャビネット5に構成するのが一般的である。

置にレコードプレーヤを設置した場合に、その操作が困難である。

てのような問題をなくすためには、操作部をキャビネットの傾斜面に設けることが望ましい。とうすれば、操作しやすく、かつ、どの位置においても目視確認でき、誤操作もなくなる。このにおっな傾斜部分を形成させるには、第4四(a),(b)にですようにV字形の帯4 b,4 bを木板4 の段がればよってする2個所に設けて第4四(b)のように折り曲げればよいが、傾斜面の破斜角度によってりず、ま立ではいが、傾斜面のを変えなければなより、は立びの寸法調整が大きくなる次点がある。そして、この傾斜的分を設けるために木板4 b それだけ長くしなければならないという欠点もある。

発明の目的

本発明は以上の種々の欠点をなくし、精度の良いキャビネットを得ることのできるキャビネット の製造方法を提供するものである。

発明の構成

本発明は、木板の表面に塩化ビニルシート等の 要面材を貼り付け、上記木板にV字形の得を切削 し、上記木板を上記V字形の荷を塊に折り曲げて 破額がほぼ直角なキャビネット本体を構成し、そ の後上記キャビネット本体の破額にそって上記表 面材及び木板の一部を斜めに切削し、この傾斜面 に操作パネル等を取付けるようにしたものである。

突施例の説明

第6図一年で図は、本発明の一実施例を製造工程をに示すものである。まず、従来と同様に木板4 にV 字形のののののでのである。まず、従来と同様に本形のののでのである。まず、従来を切りした後、この海を境に木板4 を折り曲げて和6回に示すようた直方に状の中々にネット本体である。このキャビネット本体でを関けた回転的10にそのである。これを受けた回転ののでは、中ではネット本体でのである。これを明10により、では、中では、中では、中では、中では、中でのである。これでは、10によって第6回に示すように後級に傾斜面11を

有するキャビネット本体でが得られる。

第8図,第8図は傾斜面11に操作パネルを取付ける場合の具体構成を示すものである。

傾斜面11亿取付ねじ12やスイッチ13の挿 入穴(スイッチ13の挿入穴は破粉で示されてい る)をあけ、取付ねじ12にナット14を締め付 けて、操作パネル16を取付ける。このとき、回 転歯10の厚さを適当に選ぶことによって傾斜面 11の上端に段部11aを形成しておき、操作パ ネル15の両端に突出部15a,15bを設け、 かつ一方の突出部158の下方に上記段部118 に合致する凹部を設けておくと、操作パネル16 によって類斜面11のみならず、その上下の非加 工面まで硬い能するとができ、外観を美しくする。 ことができる。また、このように傾斜面11K皮 部110を設けておけば、操作パネル15自体を 厚くしつつ突出部150のみ薄くすることができ る。このため、突出部15aの厚みが外観を損な うかそれも少なくなる。

発明の効果

預問昭60-23008(3)

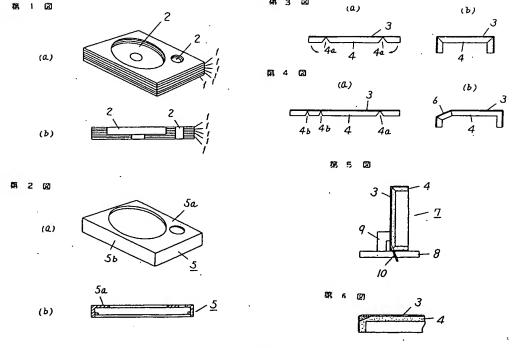
このように本発明は表面に可撓性表面材を貼り付けた木板を折り曲げ加工してほぼ直角な稜翻をもつキャビネット本体を構成し、その稜翻付近を斜めに切削して操作パネル取付用の傾斜面を設けるようにしたものであるから、傾斜面まで含めて折り曲げ加工する従来の方法に比べて組立時の寸法調整が少なくなり、又木板自体も小さなものでよいという効果が得られる。

4、図面の簡単な説明

第1図、第2図は従来のキャビネットを示す図、 第3図、第4図は第2図のキャビネットの製造方 法を示す図、第5図~第7図は本発明の一実施例 のキャビネットの製造方法を製造工程順に示す図、 第8図、第9図は同実施例で得られたキャビネットの要部の斜視図及び断面図である。

3 ······· 表面材、 4 ······· 木板、 7 ······ キャビネット本体、 8 ······スライド面、 9 ······ガイド、 1 ○ ·····回転的、 1 1 ······ 傾斜面、 1 5 ····· 操作パネル。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名



預問80-23008(4)

